

令和7年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立一身田中学校	校 長 名	川原田 元
児童・生徒数	439 名	学級数	18 学級
		教職員数	55 名

1 めざす学校像

学校教育目標 「さとく、やさしく、たくましく生きる生徒の育成」

<知>さとく 仲間との学び合い、様々な体験、新しいことへの挑戦をとおして、学びに向かう力を育む

<徳>やさしく やさしい心を持ち、人とかかわり、人とつながる力を育む

<体>たくましく 身体を鍛え、心を磨き、たくましく、自分らしく生きる力を育む

○ 自主性、社会性を育成し、豊かな人間性、自律の精神を醸成する

○ 社会に貢献する人材、国際的な視野を持ち郷土を愛する人材を育成する

2 現状と課題

- ① すべての生徒の学びを保障する「学び合う学び」の授業づくり、学校づくりが10年目を迎え、引き続き生徒たちのつながる関係、学びに向かう力の醸成と授業改善、授業力の向上に努める。
- ② 職場体験や起業体験「会社をつくろう」等のキャリア教育を進め、社会性、自主性を育てる。
- ③ 自己肯定感の低い生徒、人との関係づくりが苦手な生徒、家庭環境が厳しい生徒がおり、人間関係が希薄で、人の気持ちや心の痛みを考えられていないと感じる場面がある。
- ④ 朗らかに挨拶ができ、気さくで裏表のない生徒が多く、生徒会活動などの自主的な活動に意欲的に取り組む。反面、表現がストレートで相手のことを考えずに言動することがある。
- ⑤ 不登校や校内教育支援センター利用の生徒への支援、個別の支援、外国につながる生徒への支援を行うとともに、仲間づくり、人権教育の推進が必要である。
- ⑥ 地域から慕われる学校であり、温かい支援が寄せられる。地域学校協働本部「サポーターいっちゅう」、三重大学教育学部等と協働し、特色あるカリキュラムを編成してきている。

3 重点目標（取組）と具体的な行動計画

① 学力保障・キャリア教育

学び合う学びの授業
職場体験・「会社をつくろう」
朝読・昼学・家庭学習
GIGAスクール（家庭学習と授業）
考え、議論する道徳

② 仲間づくり・人権教育

人権出会い学習・平和学習
仲間づくりレポート
人権センターの利用
特別支援・日本語指導
自分を見つめる・重ねる・返す

④ 生徒会活動

目的に沿った行事の取組
委員会活動（活動場面の活用）
リーダー育成・主体的な活動
「気づき・考え・実行する」
部活動、地域行事への参加

夢を描き

夢を語り

夢を育てよう

③ 生徒理解・生徒指導

教育相談・生徒との話し込み
保護者との連携
不登校の生徒、個別学習の支援
規範意識、自律
あいさつとコミュニケーション

働き方改革と教職員の
資質向上
不易流行の考え方のもと
一体的に取り組む

⑤ 地域連携・小中一貫教育

学校運営協議会
サポーターいっちゅう
三重大学・三重短大連携
地域人材、地域組織との連携
小中一貫4部会・全体研修

教職員の同僚性の醸成
「生徒に求めることは、
自分たちが取り組むこと」

その他

① 働き方改革と教職員の資質向上（育成）

教職員の働き方改革と教職員の育成について、不易流行の考え方のもと一体的に取り組み、自身の能力を高められる職員組織づくりに努める。

② 組織的な教育活動の推進、教職員の同僚性の醸成

教職員間の情報共有、共通理解、チームとしての連携を大切にし、生徒、保護者に寄り添った指導に努める。「生徒に求めることは、自分たちが取り組むこと」

教職員が協働することをおして、やりがいや情熱、使命感を醸成し、子どもたちに教育の魅力を伝えられるようにする。